

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズベースシーズ		
○保護者評価実施期間	年 月 日		年 月 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数) 0
○従業者評価実施期間	2026年1月22日		2026年1月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○訪問先施設評価実施期間	年 月 日		年 月 日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数) 0
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多機能型で児童発達支援事業もおこなっています。保育所等訪問支援利用のお子さんが児童発達支援も利用している場合、保護者の同意のもと、児童発達支援事業と情報共有をおこなうことができます。	児童発達支援の状況も合わせた評価、支援プログラムの作成ができます。	情報共有を丁寧な密におこなっていきけるようにしていきたいと思えます
2	専門性を高め、支援の質の向上を図るために、大学の先生による勉強会や研修を実施	定期的に大学の先生にお越しいただき、発達に関する勉強会、お子さまへの対応の仕方のアドバイス、虐待防止他、研修をしていただいています。 また、今年度から公認心理士の大学の先生や理学療法士の方にも定期的にアドバイスをいただいています。	保護者の方が相談をできる機会等を設けていけたらと思っています。保護者の方が直接、相談をできる機会等を設けていきたいと思えます。
3	ストラテジーシートを用いたケース会議の実施	ケース会議の中でストラテジーシートを活用し、お子さんの気になる行動についてその背景や要因を整理しながら具体的な支援方法や環境面での工夫を検討しています。 シートの項目に沿って話し合うことで対応方法を明確にし、スタッフ間で共通認識を持った一貫した支援につなげていけるようにしています。	定期的に振り返りもしっかりおこない、よりよい支援をおこなっていきけるようにしたいと思います。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	関係機関との連携および保育所等訪問支援事業に関する理解・周知	・相談支援員との関わりの中で、事業所の強みや特徴の説明などが充分ではない。 ・保育所等訪問支援についての周知活動が充分ではない。	・保育所等訪問支援事業に関して、保。護者・保育園・幼稚園・関係機関への周知をおこなう ・他の保育所等訪問支援事業所との連携、情報共有
2			
3			